



准教授

小野寺哲夫

おの でら てつお

作業療法学科

【専門領域】

臨床心理士・公認心理師・Ph.D

心理学・臨床心理学
(認知行動療法・森田療法・家族療法・催眠療法)

産業組織心理学：自治体・企業組織の研究、学習する組織、システム思考

学校心理学：学校風土改革・チームワーク・モチベーションアップ

研究・実務の業績

1. 小野寺哲夫 (単著) 『健康と病気の帰属理論的研究：慢性病患者に対する家族の原因帰属と感情表出 (EE)』 風間書房, 2008.
2. 小野寺哲夫 (単著) 催眠臨床における解決の鍵としてのレジリエンス (Resilience) を測定する：日本版レジリエンス尺度の因子分析とストレス尺度との関連について. 催眠と科学, 第22巻1号, P.15~P.27, 2007.
3. 小野寺哲夫 (単著) 逆説技法 (症状処方) の心理的メカニズムの実証研究：Milton Ericksonの催眠療法の介入技法を検証する. 催眠と科学, 第32・33巻1号, P.17~P.26, 2019.
4. 小野寺哲夫 (単著) 男性に対するネガティブ・イメージは本当に存在するのか？：潜在連合テスト (IAT) で無意識を科学的に測定する. 催眠と科学, 第32・33巻1号, P.63~P.73, 2019.

学生へのメッセージ

東京保健医療専門職大学に受験しようと考えている学生のみなさん、私は東京保健医療専門職大学で心理学・臨床心理学を教えている小野寺哲夫です。

私は臨床心理士として、公認心理師として、神奈川県内の中学校で20年スクールカウンセリングを行っていましたが、教育現場や療育の現場における理学療法士・作業療法士の発言力の大きさとその存在感にいつも圧倒されてきました。また理学療法士・作業療法士の医学的専門知識の高さを肌で感じてきました。ましてや、本学の教育システムは、実務リーダーを育成できる充実したカリキュラムが用意されています。したがって、本学でしか学べない、体験できない、享受できない暗黙知 (叡智) があります。これからの時代は、この変化の激しい時代にマッチした、本物の能力・スキルを持った人材、医療専門職としての患者様に対する偽りのない優しい心、敬愛の精神までしっかりと養成できる大学が生き残っていくと確信しています。

大きな大学と本学で迷っている諸君、その意味でも、大きな大学に行って、楽しい4年間を過ごしたけど、いったいどれだけ自分が成長できたのか全く実感できないのと、コンパクトな大学だけど、教員と学生との距離が近く、何でも相談でき、きめ細やかにサポートしてもらいながら、日々の学業や実習に勤しみ、自己の成長を実感しながら、あなたの夢や目標に向かっていける本学を、私は教員の一人としておすすめします。